

経営協議会議事録
(平成30年度第2回)

平成30年6月20日(水)
13時00分から14時30分まで
法人本部3階第一会議室

出席者

議長	小山清人						
委員	相澤益男	井上弓子	佐藤秀之	里見進	里村正治		
	ストロナク・ブルース						
	安田弘法	大場好弘	久保田功	阿部宏慈	小島浩孝	根本建二	
副学長	出口毅						
監事	渡辺均	竹内千春					

欠席者

委員	中野光雄	吉村美栄子
----	------	-------

議長から、本学経営協議会規程第6条第2項の会議開催要件を満たしている旨の報告があった。

1 経営協議会議事録(5月23日開催)の確認

議長から、前回5月23日開催の本会の議事録(案)について確認があり、議事録が了承された。

2 【協議】平成29事業年度に係る業務の実績に関する報告書(案)について

久保田理事から、平成29事業年度に係る業務の実績等に関する評価を受けるため、国立大学法人評価委員会に提出する業務の実績に関する報告書(案)について、説明があった。次いで、議長から、本件について諮られた結果、原案どおり了承された。

本件に関して、主な意見等は以下のとおり。

- ・特筆すべき事項の労働生産性の向上について、超過勤務の削減が大きな成果として挙げられているが、社会的には更なる削減が期待されていると思われる。
- ・大学の強み、特色、社会的役割を踏まえた機能強化という観点は、全体評価に関連する重要な項目であり、対外的にアピールすることがあったと思われるため、トーンダウンしている印象を与えないよう留意すべきである。

3 【協議】平成29事業年度財務諸表等について

小島理事から、議題に関して、平成29事業年度決算(案)概況、当期総利益の発生要因及び目的積立金の用途特定について、説明があった。

次いで、議長から、本件について諮られた結果、原案どおり了承された。

本件に関して、主な意見等は以下のとおり。

- ・ 科研費に関して、資料には間接経費の収入のみ記載されているが、経営戦略上、ほかの外部資金同様、直接経費を含む総額で評価するので、財務諸表上に表れないのであれば参考資料として入れておくことが必要である。
- ・ 一般の企業では、金額が大きくなると事業部別にBS・PLを作成しており、経営戦略を打っていくために事業所別の数字を見たいというニーズもあるが、山形大学ではどのように検討し進めているかの確認があり、小島理事から、キャンパスごとの経営状況を役員会で確認等を行っている旨説明の後、小山学長から、財務諸表上のセグメントは、附属病院、附属学校、その他に分けており、キャンパス毎の状況については役員会の財務状況報告において整理している旨説明があった。
- ・ 大学病院経営で今年は診療報酬改定によって、赤字までとはいかないが収益が悪くなっているという話を聞いていたが、山形大学で収益が伸びている理由は何かとの質問があり、根本病院長から、物品の購入を抑え、機器更新時期の見直しや、麻酔科が一定の数増えたことにより、手術枠が埋められるようになったことが大きな理由である旨説明があった。
- ・ 資産の部の建設仮勘定が非常に大きくなっている。この場合、純資産の部も高くなる効果がある。目的積立金（当期未処分利益）に見合いの数字が入ると問題なので、きちんと検証しておいてほしい。

4 【協議】平成31年度概算要求について

小島理事から、議題に関して、本学が選択している重点支援に基づき、新たに要求していく事項及び継続して取り組む事項について、説明があった。

次いで、議長から、本件について諮られた結果、原案どおり了承された。

本件に関して、主な意見等は以下のとおり。

- ・ 大学改革の方向性として、戦略ごとに細かく評価指標が設定されているが、各指標を達成することと戦略全体の達成度の関連性が不明瞭な印象を受けるため、個別の指標と全体の達成度の関連性を再確認する必要があるのではないか。

5 【協議】国立大学法人山形大学宿舎規程の一部改正について

阿部理事から、議題に関して、本学における職員宿舎の在り方に関する基本的考え方（平成29年3月14日役員会了承）に基づき、所要の改正を行うものである旨、説明があった。

次いで、議長から、本件について諮られた結果、原案どおり了承された。

6 【協議】国立大学法人山形大学医学部附属病院の管理・運営に関する体制の整備について

阿部理事から、議題に関して、医療法の一部改正に基づき、関係規則の整備を行うものである旨説明があった。

次いで、議長から、本件に関して諮られた結果、原案どおり了承された。

本件に関して、主な意見等は、以下のとおり。

- ・ 山形大学の運営について、必要に応じ、学外の視点を取り入れるという視点は重要と考えられることから、病院長の選考においても、学外の候補者も想定することが必要ではないか。
- ・ ガバナンス改革の一環で部局長を学長指名にすることを山形大学では早くから取り入れていること対外的にアピールしてきているので、後退的な印象を受けることがないように留意すべきである。

- 7 【報告】平成29年度監事監査結果報告書等について
渡辺監事から、議題に関して、報告書の概要、監査結果、検討を求める事項及び監事意見について、報告があった。
- 8 【報告】卓越大学院プログラムについて
安田理事から、議題に関して、文部科学省に申請を行った旨、報告があった。
- 9 【報告】山形大学基金「学部等支援募金」の設置について
阿部理事から、議題に関して、報告があった。
- 10 その他
安田理事から、前回の本会で意見のあった東北6県における各県の国立大学の地元就職率について、高校生が多く地元の国立大学に入学した県は、地元の企業に就職する学生が多い傾向にある旨報告があった。

次回は、平成30年9月19日(水)に開催することとなった。